

様式第1（第2章第1及び第2又は第5の1（3）関係）

遺伝資源の取得に係る報告書

環境大臣 殿

	住所	テキスト
報告者	氏名 (日本語)	テキスト 会社 代表取締役 ○○ ○○ 印
	(英語)	テキスト
代理人	電話番号	テキスト)○○-○○○○
	住所	テキスト
	氏名	テキスト 会社 ○○事業部 ○○ ○○ 印
	電話番号	テキスト)○○-○○○○

日付

← 報告書提出日を記入してください。

報告者が法人の場合、「氏名」については、法人の名称及び代表者の氏名を記載し、「住所」については、主たる事務所の所在地を記載してください。氏名を自筆で署名した場合は押印を省略できます。

代理人が届け出を行う場合に記載してください。代理人による提出の場合は、委任状を添付してください。

遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分に関する指針第2章第1及び第2又は第5の1（3）の規定により、遺伝資源の取得について報告します。

1. 遺伝資源の適法な取得に係る事項

(1) 国際遵守証明書の固有の識別記号

一つ選択 ABSCH-IRCC-○○-△△△△△△-□ テキスト

又は 別紙のとおり (○○ (ファイル名) テキスト)

国際遵守証明書に付される固有の識別記号（ABS-CH Unique Identifier）を記載してください。複数の遺伝資源を一括して報告する場合、「別紙のとおり」にチェックし、遺伝資源ごとに様式項目を整理した別紙を添付の上、カッコ内に別紙ファイル名称を記載してください。この場合、1（2）以下は空欄で差し支えありません。別紙の例は、「様式第1別紙」を参考にしてください。なお、一括できるものは、それぞれの報告期限を越えない範囲内においてとなります。

(2) 当該遺伝資源の利用に併せて利用することを目的として当該遺伝資源に関連する伝統的な知識を取得して我が国に持ち込んだ場合

チェック 先住民の社会又は地域社会の情報に基づく事前の同意又は当該社会の承認及び関与によって当該知識を取得した。

チェック 先住民の社会又は地域社会と相互に合意する条件を設定し、当該知識を取得した。

2. 遺伝資源の利用（研究及び開発）に係る事項

一つ選択 a) 報告者自らが遺伝資源を利用

b) 報告者から譲り受けた別の者が遺伝資源を利用

c) その他 (具体的に記入 テキスト)

報告時点でa)又はb)が見込まれる場合には、a)又はb)にチェックをしてください。全くの未定の場合、その他にチェックをし、その旨記載してください。

3. 国際クリアリングハウスへの提供等を希望しない情報

(1) 国際クリアリングハウス

チェック 報告者に係る情報

(2) 環境省のウェブサイト

チェック (6項目)

- 報告者に係る情報
- 国際遵守証明書の固有の識別記号
- 遺伝資源に関連する伝統的な知識の取得に係る情報
- 遺伝資源の利用（研究及び開発）に係る事項
- 報告の区分
- 補足事項（ ）

掲載を希望しない項目にチェック。これによりがたい場合は「その他」にチェックの上、具体的に記述。

← 報告者の氏名（日英）

← 1. (1)に相当

← 1. (2)に相当

← 2. に相当

← 4. に相当

← 特記すべき事項がある場合、「その他」にチェックの上、具体的に記述。

4. 報告の区分

(1) 国際クリアリングハウス

一つ選択

- a) 第2章第1の1に基づく報告（取得者による報告）
- b) 第2章第1の2（1）に基づく報告（人の健康に係る緊急事態の収束後の報告）
- c) 第2章第1の2（2）に基づく報告（人の健康に係る緊急事態の発生及び収束の時点を特定することが困難な場合の報告）
- d) 第2章第1の3に基づく報告（輸入者等による任意の報告）
- e) 第2章第5の1（3）に基づく報告（遺伝資源を利用する者による任意の報告）

備考

- 1 報告者が法人の場合にあつては、「報告者の氏名」については、法人の名称及び代表者の氏名を記載し、「報告者の住所」については、主たる事務所の所在地を記載すること。
- 2 報告者の氏名又は法人の名称及び代表者の氏名については、英語による表記を併記すること。
- 3 氏名（法人にあつては、その代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつては、その代表者）が署名することができる。
- 4 1. (2)の「当該遺伝資源の利用に併せて利用することを目的として当該遺伝資源に関連する伝統的な知識を取得して我が国に持ち込んだ場合」については、該当するものにチェックすること。
- 5 2. の「遺伝資源の利用（研究及び開発）に係る事項」については、該当するものにチェックすること（複数回答可）。今後の予定の情報の記載も可とする。
- 6 3. の「国際クリアリングハウスへの提供等を希望しない情報」については、遺伝資源の取得に係る情報のうち報告者に係る情報について、国際クリアリングハウスへの提供を希望しない場合は、チェックをすること。また、遺伝資源の取得に係る情報のうち環境省のウェブサイトへの掲載を希望しないものがある場合は、希望しない情報を具体的に記載すること。
- 7 4. の「報告の区分」については、該当するものにチェックすること。
- 8 国際遵守証明書の写しを添付すること。ただし、当該個人又は法人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがある情報は除くことができる。
- 9 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

様式第2（第2章第1の1（1）若しくは3及び第2又は第5の1（3）関係）

遺伝資源の取得に係る許可証等に基づく報告書

日付

← 報告書提出日を記入してください。

環境大臣 殿

住所

テキスト

報告者 氏名
(日本語)

テキスト 会社
代表取締役 ○○ ○○ 印

(英語)

テキスト

電話番号

テキスト)○○-○○○○

代理人 住所

テキスト

氏名

テキスト 会社
○○事業部 ○○ ○○ 印

電話番号

テキスト)○○-○○○○

報告者が法人の場合、「氏名」については、法人の名称及び代表者の氏名を記載し、「住所」については、主たる事務所の所在地を記載してください。氏名を自筆で署名した場合は押印を省略できます。

代理人が届け出を行う場合に記載してください。代理人による提出の場合は、委任状を添付してください。

遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分に関する指針第2章第1の1（1）若しくは3及び第2又は第5の1（3）の規定により、遺伝資源の取得について報告します。

1. 遺伝資源の適法な取得に係る事項

(1) 国際遵守証明書の固有の識別記号に代わり、適法に取得したことを証する情報

(チェックして下表に記入)

一つ選択	①提供国	198択から選択
	②許可証等の発給機関	(日本語) テキスト (英語) テキスト
	③許可証等の発給日	日付
	④許可証等の有効期限	日付
	⑤提供者	(日本語) テキスト (英語) テキスト
	⑥遺伝資源	テキスト
	⑦提供者と相互に合意する条件の設定の有無	2択から選択
	⑧商業的又は非商業的な利用の別	2択から選択

← 報告が1件の場合、チェックの上、下の表に直接記入してください。
← リスト（アルファベット順、「国リスト」シート参照）から選択してください。
← 日本語と英語の表記を併記してください。

← 日本語と英語の表記を併記してください。

チェック 又は
別紙のとおり ((ファイル名) テキスト)

← 複数の遺伝資源を一括して報告する場合、「別紙のとおり」にチェックし、遺伝資源ごとに様式項目を整理した別紙を添付の上、カッコ内に別紙ファイル名称を記載してください。

(2) 当該遺伝資源の利用に併せて利用することを目的として当該遺伝資源に関連する伝統的な知識を取得して我が国に持ち込んだ場合

チェック 先住民の社会又は地域社会の情報に基づく事前の同意又は当該社会の承認及び関与によって当該知識を取得した。

チェック 先住民の社会又は地域社会と相互に合意する条件を設定し、当該知識を取得した。

← この場合、1（2）以下は空欄で差し支えありません。
← 別紙の例は、「様式第2別紙」を参考にしてください。
← なお、一括できるものは、それぞれの報告期限を越えない範囲においてとなります。

2. 遺伝資源の利用（研究及び開発）に係る事項

- 一つ選択
- a) 報告者自らが遺伝資源を利用
 - b) 報告者から譲り受けた別の者が遺伝資源を利用
 - c) その他（具体的に記入 ）

報告時点でa)又はb)が見込まれる場合には、a)又はb)にチェックをしてください。
 全くの未定の場合、その他にチェックをし、その旨記載してください。

3. 国際クリアリングハウスへの提供等を希望しない情報

(1) 国際クリアリングハウス

- チェック (12項目)
- 報告者に係る情報
 - 国際遵守証明書の固有の識別記号に代わり、適法に取得したことを証する情報
 - ①提供国
 - ②許可証等の発給機関
 - ③許可証等の発給日
 - ④許可証等の有効期限
 - ⑤提供者
 - ⑥遺伝資源
 - ⑦提供者との相互に合意する条件の設定の有無
 - ⑧商業的又は非商業的な利用の別
 - 遺伝資源に関連する伝統的な知識の取得に係る情報
 - 遺伝資源の利用（研究及び開発）に係る事項
 - 補足事項（具体的に記入 ）

掲載を希望しない項目にチェック。これによりがたい場合は「その他」にチェックの上、具体的に記述。

- ← 報告者の氏名（日英）
- ← 1. (1)に相当

(2) 環境省のウェブサイト

- チェック (13項目)
- 報告者に係る情報
 - 国際遵守証明書の固有の識別記号に代わり、適法に取得したことを証する情報
 - ①提供国
 - ②許可証等の発給機関
 - ③許可証等の発給日
 - ④許可証等の有効期限
 - ⑤提供者
 - ⑥遺伝資源
 - ⑦提供者との相互に合意する条件の設定の有無
 - ⑧商業的又は非商業的な利用の別
 - 遺伝資源に関連する伝統的な知識の取得に係る情報
 - 遺伝資源の利用（研究及び開発）に係る事項
 - 報告の区分
 - 補足事項（具体的に記入 ）

掲載を希望しない項目にチェック。これによりがたい場合は「その他」にチェックの上、具体的に記述。

- ← 報告者の氏名（日英）
- ← 1. (1)に相当

- ← 1. (2)に相当
- ← 2. に相当
- ← 4. に相当

特記すべき事項がある場合、「その他」にチェックの上、具体的に記述。

4. 報告の区分

(1) 国際クリアリングハウス

- 一つ選択
- a) 第2章第1の1(1)に基づく報告（取得者による報告）
 - b) 第2章第1の3に基づく報告（輸入者等による任意の報告）
 - c) 第2章第5の1(3)に基づく報告（遺伝資源を利用する者による任意の報告）

備考

- 1 報告者が法人の場合にあっては、「報告者の氏名」については、法人の名称及び代表者の氏名を記載し、「報告者の住所」については、主たる事務所の所在地を記載すること。
- 2 報告者の氏名又は法人の名称及び代表者の氏名については、英語による表記を併記すること。
- 3 氏名（法人にあっては、その代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができる。
- 4 1.（1）の⑥の「遺伝資源」については、遺伝資源の学名が明らかな場合には、学名を記載すること。また、②の「許可証等の発給機関」及び⑤の「提供者」については、英語による表記を併記すること。
- 5 1.（2）の「当該遺伝資源の利用に併せて利用することを目的として当該遺伝資源に関連する伝統的な知識を取得して我が国に持ち込んだ場合」については、該当するものにチェックすること。
- 6 2. の「遺伝資源の利用（研究及び開発）に係る事項」については、該当するものにチェックすること（複数回答可）。今後の予定の情報の記載も可とする。
- 7 3. の「国際クリアリングハウスへの提供等を希望しない情報」については、遺伝資源の取得に係る情報のうち国際クリアリングハウスへの提供又は環境省のウェブサイトへの掲載を希望しないものがある場合は、希望しない情報をそれぞれ具体的に記載すること。
- 8 4. の「報告の区分」については、該当するものにチェックすること。
- 9 許可証等の写しを添付すること。ただし、当該個人又は法人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがある情報は除くことができる。
- 10 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

様式第3（第2章第5の1（1）又は（3）関係）

遺伝資源の利用に関連する情報に係る報告書

日付

環境大臣 殿

住所

報告者 氏名 (日本語) 会社
代表取締役 ○○ ○○ 印

(英語)

電話番号 ○○-○○○○

代理人 住所

氏名 会社
○○事業部 ○○ ○○ 印

電話番号 ○○-○○○○

← 報告書提出日を記入してください。

報告者が法人の場合、「氏名」については、法人の名称及び代表者の氏名を記載し、「住所」については、主たる事務所の所在地を記載してください。氏名を自筆で署名した場合は押印を省略できます。

代理人が届け出を行う場合に記載してください。代理人による提出の場合は、委任状を添付してください。

遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分に関する指針第2章第5の1（1）又は（3）の規定により、遺伝資源の利用に関連する情報について報告します。

1. 報告に係る遺伝資源

一つ選択

又は
 別紙のとおり ((ファイル名))

← 報告が1件の場合、チェックの上、欄内に直接記入してください。様式1又は様式2により取得時に報告した遺伝資源名又は国際遵守証明書の固有の識別記号を記載してください。同じ名称の遺伝資源の取得の報告を複数回行っている場合は環境省ウェブサイト上での管理番号を付記する等、どの報告に相当するものかを明示してください。

← 複数の遺伝資源を一括して報告する場合、「別紙のとおり」にチェックし、遺伝資源ごとに様式項目を整理した別紙を添付の上、カッコ内に別紙ファイル名称を記載してください。この場合、2.以下は空欄で差し支えありません。別紙の例は、「様式第3別紙」を参考にしてください。なお、一括できるものは、それぞれの報告期限を越えない範囲内においてとなります。

2. 遺伝資源の利用の状況

一つ選択 a) 遺伝資源を利用中である
 b) 遺伝資源を利用していたが、現在は利用していない
 c) その他 ()

← 本報告時点の利用状況を記載してください。遺伝資源を既に利用していない場合はb)にチェックし、利用せずに廃棄した場合はc)にチェックしその旨記載してください。

3. 遺伝資源の利用の分野

チェック (7項目)

- a) 化粧品
- b) 医薬品
- c) 食料品又は飲料品
- d) 植物育種
- e) その他の製品や品種の開発 (分野:)
- f) 非商業的な目的の研究
- g) その他 ()

2. でa)又はb)と回答した場合、該当するものにチェックしてください。
e)又はg)の場合は、具体的な分野を記載してください。
複数分野で利用した場合、該当するものすべてチェック又は記載してください。

4. 国際クリアリングハウスへの提供等を希望しない情報

(1) 国際クリアリングハウス

チェック (5項目)

- 報告者に係る情報
- 報告に係る遺伝資源
- 遺伝資源利用の状況
- 遺伝資源利用の分野
- 補足事項 (記入)

掲載を希望しない項目がある場合は該当する項目をチェックしてください。

- ← 報告者の氏名 (日英)
- ← 1. に相当
- ← 2. に相当
- ← 3. に相当

(2) 環境省のウェブサイト

チェック (6項目)

- 報告者に係る情報
- 報告に係る遺伝資源
- 遺伝資源利用の状況
- 遺伝資源利用の分野
- 報告の区分
- 補足事項 (記入)

掲載を希望しない項目がある場合は該当する項目をチェックしてください。

- ← 報告者の氏名 (日英)
- ← 1. に相当
- ← 2. に相当
- ← 3. に相当
- ← 5. に相当

5. 報告の区分

(1) 国際クリアリングハウス

一つ選択

- a) 第2章第5の1 (1) に基づく報告 (取得者による報告)
- b) 第2章第5の1 (3) に基づく報告 (遺伝資源を利用する者による任意の報告)

備考

- 1 報告者が法人の場合にあっては、「報告者の氏名」については、法人の名称及び代表者の氏名を記載し、「報告者の住所」については、主たる事務所の所在地を記載すること。
- 2 報告者の氏名又は法人の名称及び代表者の氏名については、英語による表記を併記すること。
- 3 氏名（法人にあっては、その代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができる。
- 4 1.（1）の⑥の「遺伝資源」については、遺伝資源の学名が明らかな場合には、学名を記載すること。様式第1により報告した場合は、国際遵守証明書の固有の識別記号の記載も可とする。
- 5 2.の「遺伝資源の利用の状況」とは、研究、開発、イノベーション、商業化前、商業化等のいずれかの段階にあること又はあったことをいい、a)、b)又はc)のうち該当するいずれかのものにチェックすること。c)の場合は、その具体的な状況を記載すること。なお、遺伝資源を廃棄したため利用していない場合にはその旨を記載すること。
- 6 3.の「遺伝資源の利用の分野」については、2.でa)又はb)と回答した場合、該当するものにチェックすること（複数回答可）。
- 7 4.の「国際クリアリングハウスへの提供等を希望しない情報」については、遺伝資源の取得に係る情報のうち国際クリアリングハウスへの提供又は環境省のウェブサイトへの掲載を希望しないものがある場合は、希望しない情報をそれぞれ具体的に記載すること。
- 8 5.の「報告の区分」については、該当するものにチェックすること。
- 9 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。